

大雨の後のカブスカウトの妙見山ハイキング

7月15日、天候は晴天、絶好のハイキング日和でした。

ルートは能勢電妙見口⇒出合⇒妙見山々頂(目的地)⇒黒川⇒妙見口周回コースです。

9時25分妙見口よりハイキング出発！！

初谷ハイキングコースをたどり出合にある豊能2団のキャンプ場を目指しました。

計画では、上杉尾根を下山する予定でしたが、大雨の影響で今回は山頂からはリフトとケーブルカーとバスを乗り継いで妙見口へ戻るコースをとりました。

ちなみに、大雨の影響で5コース中、3コースは通行不能でした。

事前情報では

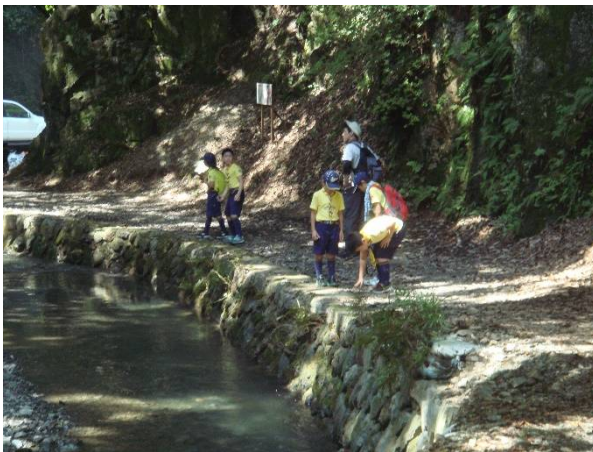


先日の大雨の影響でこの図の右側の初谷と天台山の2コースしか通れません。

真ん中の上杉尾根コースはV字谷付近の倒木で不通。大堂越コースも土砂崩れで不通です。

リフトは支柱の根元が雨に洗われ不安定とのことで運休でした。

ケーブルは安泰とのことでした。(やれやれ😊)



10時 休憩です

写真内、看板が立っている付近に間歩試掘跡があります。

ちなみに、間歩(まぶ)とは、鉱石を採るために掘った穴の事です。

妙見山から初谷川流域にかけては、新たな鉱石を見つけるために試掘がなされていました。この穴もその名残です。

休憩後、恐竜の牙や卵の造形物や足跡があるメモリアル付近まで順調に進みました。

この辺まではコースもそんなに荒れていなく順調に進めました

最後の砂防ダムを過ぎ、沢道に入ると雰囲気は変わりました。



ベンチャースカウトが心配げに見守っています
沢が荒れています。

カブ同士助け合ってます

11時5分に緊急避難ポイント14番付近で休憩、11時10分出発。

11時50分緊急避難ポイント17番付近到着。沢があれていて距離が稼げません。

18番19番の緊急避難ポイント標識が土砂で流されていました。20番はありました。

最終の21番ポイントに到達。キャンプ場は目と鼻の先です。

12時30分頃豊能2団のキャンプ場に到着しました。

カブスカウトたちはよく頑張りました。これは胸を張れることです。流石流石！！強いね！！

早速、飯盒炊爨に着手 カレーは上出来であった。米の方もベンチャースカウトは久しぶりの薪の炊爨ということで感を取り戻すまで戸惑った様子でしたが、さすがベンチャー、結果良し。

カレーに最適の炊き加減でした。

カブスカウト曰く、カレーは美味しかったが米が熱かったとのことでした。



この写真だけ見ると舎営の昼食風景ですね。

妙見口にて記念撮影

ベンチャースカウトがジュニアリーダーとしてその役目を十分に果たしてくれました。

15時に豊能2団のキャンプ場を出発、山頂へ。急登ですが楽勝コースです。

15時51分に山頂通過、やはりリフトは運休でした。ケーブル駅へは16時15分着。

ケーブルカーのすぐそばに鹿を発見、車内大いにはしゃぐ。

ケーブルで黒川、バスで妙見口へ、妙見口着は16時38分でした。この間あっという間。

妙見口16時55分発、石橋で電車を降りて朝の集合場所に17時30分過ぎに到着。

みんなで今日のハイキングを振り返り、カブサインをして家路につきました。

自然の力の大きさを感じたハイキングでした。